

映像制作プロジェクト「撮り旅」による情報教育

鳥居碧† 三橋夕陽† 當麻敬之† 田之江秀泰† 檀 裕也‡

株式会社 AOI Pro.† 松山大学‡

論文要旨. 松山大学では、「旅と学びの協議会」を通じて連携している株式会社 AOI Pro. が立ち上げた映像制作プロジェクト「地域の魅力を映像にしよう！－撮り旅－」に2022年3月のトライアル段階から参加し、同年4月以降に全学部全学年に呼び掛けて希望者を募り、7月から9月にかけて愛媛県の今治、大洲・内子、松山（道後温泉や三津浜を含む）、宇和島、久万高原・砥部を旅し、愛媛県各地の魅力を映像によって表現する映像制作の実践的な学生生活動を実施した。企画・撮影・編集の工程を経て完成した映像作品は、成果発表会にて公開したほか、インターネットを通じて公開している。情報教育における映像表現の知識・スキルの向上だけでなく、コミュニケーション能力の向上を含む態度などの変容に関する教育効果にも言及する。

1. はじめに

経済・経営・人文・法の文系学部を中心とする松山大学の卒業生の進路として、テレビ局や映像制作会社など本格的な映像の撮影、編集、および放送・配信を活用する業界のみならず、一般企業の広報部門などでプロモーション映像（PV）を制作する業務に携わるケースが増えている一方、映像制作を題材とする本格的な情報教育のカリキュラムを提供できていないという実態^[1]がある。スマートフォン（スマホ）のカメラ機能や映像編集アプリなどに触れている学生にとって、映像を撮影し、編集するという過程は身近な情報処理の技術である。しかし、どのように撮影すると良いのかというテクニックやどのように編集すると効果的な映像に仕上がるのかという表現手法には、理論や感性に基づく奥の経験則も存在する。そこで、地域の魅力を映像にして発信するというテーマで「撮り旅」プロジェクトに希望学生が参加し、実際の企画・撮影・編集の作業工程を経て、多くの映像作品が完成した。本稿では、その取り組みについて述べる。

Information education through the video production project "Tori-tabi"

† Aoi Torii, Yuhi Mitsuhashi, Takayuki Toma, and Hideyasu Tanoe, AOI Pro.

‡ Yuya Dan, Matsuyama University

2. 「撮り旅」の概要

「地域の魅力を映像にしよう！－撮り旅－」とは、2022年に株式会社 AOI Pro. が立ち上げた映像制作プロジェクトである。ANA ホールディングス株式会社が事務局を務める「旅と学びの協議会」を通じて松山大学と連携し、2022年3月に実施したトライアルでは愛媛県今治市の魅力を映像にして発信した^[2]。松山大学では、同年4月以降に全学部全学年の学生に呼び掛けて希望者を募り、5月10日（火曜）、12日（木曜）および13日（金曜）に分けて3回の説明会を開催した結果、各学部・学科から59名の学生が参加した。（図1および図2）

「学部・学科」のカウンタ数

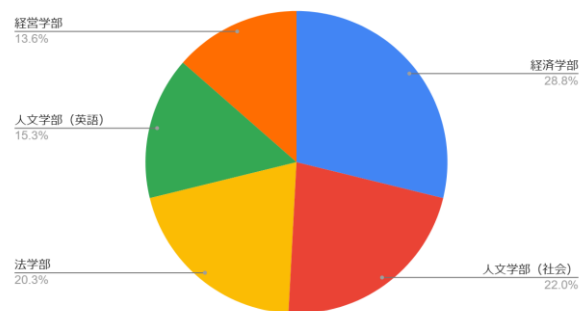


図1. 説明会参加学生の学部・学科別の数

「学年次」のカウンタ数

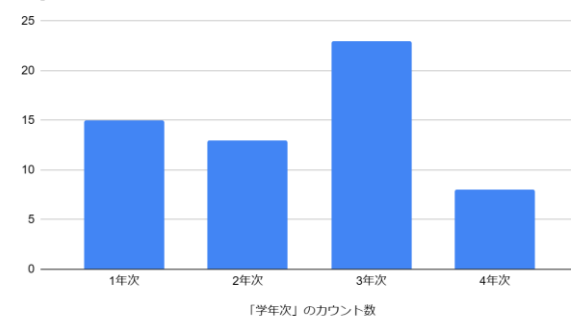


図2. 説明会参加学生の学年次別の数

7月から9月にかけて愛媛県の今治、大洲・内子、松山（道後温泉や三津浜を含む）、宇和島、久万高原・砥部を旅し、愛媛県各地の魅力を映像によって表現する映像制作の実践的な学生生活動を実施した。企画・撮影・編集の工程を経て完成した映像作品は、成果発表会にて公開したほか、インターネットを通じて公開している^[3, 4]。

3. 内容

プロジェクト説明会を経て最終的に参加の意思を表明した1年次～4年次の33名の学生が、企画・行程づくり・取材交渉・撮影・編集を一貫して行い、それぞれのテーマごとに愛媛県の魅力をまとめた映像を制作した。撮影は2022年7月と9月に今治、大洲・内子、松山、宇和島、久万高原・砥部にて実施した。その際、通常の撮影用ビデオカメラだけでなく、アクションカメラやドローン、そして三脚やジンバルなどの撮影機材を使い、映像制作のプロによるノウハウを学びつつ、効果的な映像となるように工夫した。

表. 撮影各地の日程および参加者人数

日付	場所	人数
7月 9日 (土曜)	今治	5名
7月 10日 (日曜)	大洲・内子	8名
9月 4日 (日曜)	松山	6名
9月 5日 (月曜)	宇和島	9名
9月 6日 (火曜)	久万高原・砥部	9名

撮影された映像データは、AOI Film Craft Lab.のコミュニティスペースとして2022年6月に松山市内に開設された「JUKU 松山」において、専用の映像編集ソフトを使って映像作品に仕上げた。

4. 成果

「撮り旅」に参加した学生からは、映像制作の基礎知識だけでなく、時間を管理する能力などプロジェクトマネジメントに関する能力が向上したという実感が得られた。特に、映像で表現するという撮影や編集の場面において、考え抜く力を向上させ、限られた時間の中で仲間とともにチームで活動することから、最後までやり抜く力を身につけた様子が見える。実際、「いろいろな人と関わったりと初めてのことで、すごい刺激的で楽しかった」や「愛媛の魅力に気が付くことができ、何よりも楽しむことができた。映像関係・パソコンの知識も身につけることができ、映像を作ることに楽しみを覚えた。」など、映像制作を通じて地域の魅力に気づくという副次的な効果とともに、楽しく取り組むことができたという狙いが達成できた。「またこのようなプロジェクトがあったら参加してみたい」という感想の聞かれ、おおむね好評であったことが確認できた。

5. まとめ

映像制作プロジェクト「撮り旅」の初年度は、試行錯誤しながら、松山大学から22件の映像作品を公開するに至った。他の大学や高校でも「撮り旅」のプロジェクトが展開されていることから、地方×映像の教育モデルのひとつとして、そのノウハウを共通基盤として全国展開することが可能である。

松山大学では、正課教育外の取り組みとして自由に参加できるプロジェクトであったが、今後は、例えば今回の参加学生が次回プロジェクトにおけるアドバイザーとして関与するなど、組織的な取り組みに昇華することが課題となるであろう。

また、このような映像教育は、高校における探究学習に取り入れることによって、地域の魅力に触れるとともに、グループワークとしてコミュニケーション能力を身につける教育にも展開が可能である。

参考文献

- [1] 檀裕也「映像制作を題材とする情報教育カリキュラムの検討」松山大学論集, Vol. 31, no. 6, pp. 45-68. (2020)
<http://id.nii.ac.jp/1249/00002721/>
- [2] AOI Pro., ANA HD 運営の「旅と学びの協議会」に参画。学生向けプロジェクト「地域の魅力を映像にしよう！～撮り旅～」を始動
<https://www.aoi-pro.com/jp/news/20220318/29068/>
- [3] 松山大学, 地域の魅力を映像にしよう！—撮り旅—プロジェクト成果報告会
<https://www.matsuyama-u.ac.jp/topics/to-pics-223105/>
- [4] AOI Pro., 「地域の魅力を映像にしよう！～撮り旅～」プロジェクトにて松山大学の学生が愛媛県のPR映像を制作。成果報告会を実施
<https://www.aoi-pro.com/jp/news/20221207/36610/>